

## 危険すぎる、その内容

「海賊対処」法案の  
強行再可決に抗議する！

ねらいは、自衛隊の  
海外派兵の恒久化！



不審船対処訓練で小銃を構えた特別警備隊員を乗せ高速機動する同隊の特別機動船一朝雲HPよりー

## 「海賊対処」は口実だ！

3月14日、広島県呉港から海上自衛隊の特殊部隊「海上警備隊員」10数人を含む400人の自衛隊員を乗せた護衛艦2隻（「さざなみ」「さみだれ」）が、1万2千kmも離れたソマリア沖に向け出発しました。

政府は、「海賊対処」に、自衛隊法第82条の「警備行動」を適用し派遣しましたが、この護衛艦は、機関銃や魚雷を装備し、哨戒ヘリも搭載しています。

さらに、P3C哨戒機を2機とそれを護衛する陸上自衛隊も派遣しています。

これらの行為は、まさに武器使用を前提にした派遣であり、「武力による威嚇又は武力の行使」を放棄した憲法9条に違反します。

自民・公明両党は、19日「海賊対処」を名目にソマリア沖に派遣している自衛隊に、積極的な武器使用を認める「海賊対処」派兵法案を衆議院で再可決を強行しました。憲法違反の立法に断固抗議するとともに、ただちに派兵中止を求めるものです。

## 「新法」で武器使用に制約なし、「戦争する国づくり」へ

「海賊対処」派兵新法案は、「海賊対処」を名目に、自衛隊を世界中の公海に「いつでも、どこでも、いつまでも」派兵・武力行使ができるようにするものです。

法案は、抵抗・逃亡する海賊への危害射撃、海賊行為を制止するための船体射撃を規定しています。しかし、「ほとんどの場合、海賊船と漁船は同じに見える」と米海軍の専門家も指摘しています。

遠く離れたソマリア沖で、自衛隊が戦後初めて、人を殺傷しかねないのです。現に2隻の護衛艦には、初めて『遺体安置室』が設置されました。

昨年、各国がソマリア沖に軍隊を派遣し、政府も自衛隊を派遣しましたが、4月には米軍が人質救出のために海賊3人を射殺し、海賊が「報復」を宣言する事態になりました。力でねじふせるやり方は事態を悪化させるだけです。自衛隊の派遣はただちに中止すべきです。

政府は「自衛隊が行う海賊対処は警備活動だ」と言いますが、現地では、米軍をはじめ、各国軍隊と協力して任務を遂行するとしています。

しかし、米軍は、自衛隊が活動するソマリア沖・アデン湾で、「海賊対処」だけを行っているわけではありません。対テロ戦争やソマリア本土への空爆など、さまざまな軍事作戦を混然一



# ■ 軍事的対応でソマリアの「海賊問題」は解決しません

体となってすすめています。

P3C哨戒機による情報提供は、「海賊対処」だけではなく、対テロ戦争、ソマリア本土への空爆など米軍の軍事作戦全体を支援・共有することになり、それは、「集団的自衛権」の行使を意味します。その米軍に海上自衛隊のP3C哨戒機や護衛艦が情報提供を行えば、米軍の軍事作戦全体を支援することになるのは明らかです。

ソマリアの「海賊問題」の原因は、1991年の政権崩壊以来、内乱状態が続き、経済が疲弊し、またヨーロッパ諸国がソマリアの豊かな漁場を荒らし、有害物を不法投棄する等して漁民をはじめ国民は貧困に追い込まれ、やむなく一部のものが「海賊化」したためです。



テロ対策合同訓練で不審船の立ち入り検査を行う一朝雲HPより

## 日本がなすべきことは？ 「派兵」ではなく、外交努力と民生支援を！



海賊の身柄を引き渡され、武器の有無など身体検査を行う海上保安官（2月20日、呉沖の護衛艦「たかなみ」で）一朝雲HPより

安保理決議1838号前文も強調するように、この根本問題を解決することなしに、状況が改善しないことは明らかです。ソマリアの内戦と貧困という「陸」の問題が解決しない限り、海賊という「海」の問題も解決しないことは、国際社会の共通認識です。

ソマリア暫定連邦政府のアハメド大統領は、ソマリアの治安部隊を確立するための国際援助があれば、「海賊の攻撃の4分の3は防止できる」と発言しています。

憲法九条をもつ日本がやるべきは、自衛隊の派遣ではなく、こうした現地ソマリアと周辺国の海上警察力の強化のための技術援助・財政援助であり、根本問題であるソマリアの内戦終結と貧困の解決のための外交努力と民生支援です。

「海賊対処」を口実に、自衛隊の海外での武力行使、海外派兵「いつでも、どこでも、いつまでも」できる恒久法案は、憲法違反そのものです。自衛隊の派兵をただちに中止すべきではないでしょうか。



憲法改悪の動きが強まっています。自民・公明の与党は、改憲原案の審議権限をもつ憲法審査会の委員数や審議のルールを定める規程案の採決を十一日に衆議院本会議で強行しました。規程の議決は、審査会を始動させて改憲原案づくりに着手し、国民投票法施行後に改憲原案の国会提出をいつでもできることを狙ったものです。憲法審査会規程の採決強行に、反対の声を高めましょう。

憲法改悪の動きを止めよう！